



はがきでペン優秀作品

おばあちゃんが、
 へやいっばいにき、
 ものを広げている
 の。虫ほしだつて。
 四年 水谷真千花

小4 水谷 真千花

しんの通った線。のびのびと書いていて良い。

伯父が行う書物の虫干
 しを手伝ったよ。古い
 和紙の本が多いから大
 変だった。紙魚という
 虫、知っている？
 中三 稲垣一華

中3 稲垣 一華

美しい字形が並び、全体のバランスも整った。

佳作以上に「書作名人筆」さしあげます

審査担当 金子榮風先生

し
か
ようねん おおき えいと

大木 瑛 仁 幼年 8級

いそぎすぎずゆつたりとかくことで、さいごまでしっかりとしたせになつた。おおきくてがんじょうな「しか」がかけた。

し
か
ねん いかいちじゅうな

いつかいちじゅうな 小1 8級

すべてのせんのはじまりや、「し」のハライ、「か」のハネなど、きほんのふでづかいができています。もじのかたちもきれいな

り
し
す
ま
二年 小暮 滯

小暮 滯 小2 2級

なめらかにふでをつかいながらも、一画ずついてねいに書きすすめていてすばらしい。「ま・す」の丸めるところも上手だ。

日
光
三年 山川 夕奈

山川 夕奈 小3 1級

線の始まりから終わりまで集中して書けた。美しい字形をちゃんと分かって書いているので二文字ともバランスが整った。

四
ば
玉
手
年 宇治 枇 莉

宇治 枇 莉 小4 初段

漢字の直線の強さと平がなの丸みを帯びた線がどちらも上手く書けている。次の画へとつながる気持ちが見えるのも良い。

白
砂
五年 山田 麻矢

山田 麻矢 小5 2段

堂々とど真ん中に書かれた字形の美しい二文字が立ばだ。線の太細の使い分けを上手に使っていて、特に太い線が効果的。

並
雨
木
の
六年 甘利 星奈

甘利 星奈 小6 2段

「雨・並」はバランスを取りづらく意外と難しいが見事に整えた。「の・木」の最終画がどちらも素晴らしく、全体が美しい。

黒
板
中一 三 段 佐藤 優那

佐藤 優那 中1 3段

全ての点画に対する集中力が高く丁寧な書き方が観ていて嬉しくなる。特に、名前も含めて全てのハライが左右共に上質。

富
士
五
湖
中二 五 段 両徳 采奈

両徳 采奈 中2 5段

リズム良く書き進めていく息遣いが聴こえてくるようだ。各文字の柱となる太く力強い線には意志的なもの感じ、魅力大。

富
士
五
湖
中三 三 段 河口 果蓮

河口 果蓮 中3 準6

線の長さ、太さや角度が全て絶妙で、四文字とも隙が無く、きれいに整えられた。字の中心位置を捉える感覚が優れている。

七月十五日締め切り

最優秀作品

金子高遠選評

